

られた時フィジーとの交流の話があり、平成7年からフィジーとも交流するようになりました。

子供にはチャンスを与えなければならないと、常に考えております。特に英語はどこでも通用する言葉だけれども、英語をベースにするのではなく、外国の方と小さい時から交流すると、肌で感ずるものができてきて、ぜんぜん抵抗なく交流ができるようになると思います。どうも日本人は英語を使うことが恥ずかしいという意識があるようです。

色々な国を回ってみて日本ほど教育の恵まれた国は少ないと思われます。私は幼稚園教育に携わって18年になりますが、これからの国作りに幼児教育というものが、いかにたいせつかと痛感しているしだいです。

(会報担当者：田畑 収 委員)

## 株式会社 国際サービス

代表取締役 阿部 誠太

040-0064 函館市大手町5-10 ニチロビル  
TEL(0138)23-1408

(広告掲載：阿部 誠太 会員)

### ◎ 1月5日出席報告

会 員	54名	出席率対象会員	52名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	36名	当日欠席	11名
他クラブ出席	7名	出席合計	43名
出席率	82.69%		

・ テレホンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・2月13日  
プログラム

夜間例会「クラブ協議会」

函館国際ホテル 午後6時30分～



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2001~2002年度 国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 リチャード D. キング

## 人類が私たちの仕事 MANKIND IS OUR BUSINESS

藪下 義晴 会長テーマ 『楽しみと親しみのある出会い・そして感動』



1月23日卓話 川村兼悦郎 氏

## 《第1858回例会》 第28号 2月6日(水)

### 本日のプログラム

会員卓話「銀行って、なに考えてるの？」

札幌銀行函館支店長 高橋 真 会員

★会 長 藪下 義 晴

★幹 事 藤野 明 信

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

## 1月23日の記録

◎司 会 薮下 義晴 会長 ◎斉 唱 我等の生業

◎ビジター 函館五稜郭R. C. 浜田邦夫君・伊藤隆義君・當摩浩平君、  
函館東R. C. 日下部一博君、函館亀田R. C. 坂本幸夫君、  
函館R. C. 佐藤公郎君・中山浩一君

◎会長報告 薮下 義晴 会長

○R. I. 会長主催のアジア会議が3月22～24日に台北市で行われます。  
参加ご希望の会員は幹事迄。

◎委員会報告

●職業奉仕委員会 北村 祐治 委員長  
アンケートにご協力下さい。

◎幹事報告 藤野 明信 幹事

○当クラブ2月13日の例会はクラブアッセンブリーを兼ねた夜間例会を開催致します。多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。又1月30日の例会は自主休会です。  
○2月の例会予定は6日通常例会、13日夜間例会、20日は19日に変更し七飯R. C.と合同夜間例会、27日は24日に繰り上げIM開催前に例会を行います。  
○1月29日函館東R. C. 自主休会、2月1日函館五稜郭R. C. は移動例会に変更となっております。

◎親睦活動委員会 粟飯原幸男 委員

ニコニコBOX投入報告

新 会員・伊藤会員・鈴木会員・森 会員・高橋(哲)会員・松見会員・佐々木  
会員・久保会員・福井会員・千葉会員……BOXに協力。  
藤田会員……川村理事長を歓迎して。

◎卓話 「幼児からの国際交流に賭ける」

～モンゴル第16幼稚園、台湾、中歴華盛頓幼稚園との姉妹提携及び  
幼児からの英語教育における幼児教育の将来性について～  
学校法人桔梗学園理事長 ききょう幼稚園園長 川村兼悦郎 氏  
昭和38年、沖縄で青年会議所の国際会議へ出た時、日本人は海外の人と言葉  
が壁になり思うように交流ができませんでした。

昭和49年に私の中学1年の次男が、フィリピンのケリンに招待され1カ月ホームステイして戻ってきたら、英会話ができるようになり、その後高校に行っても良い成績を取り続けました。

今の幼稚園児をみると、物質的には非常に恵まれていて、戦時中、戦後の時代と、余りにも差がありすぎて驚かされます。併し一方子供にたいしての躰けがなされていない、特に根性がありません。その頃NHKのモンゴル紀行をみて、草原を裸馬に乗って走る子供の姿をみて感激し、日本の子供に欠けているものはこれだと思い、モンゴル大使館にアプローチしました。2年後に書記官のダシプールから連絡があって東京で会い、子供は互いの国の宝なのだから、子供のために交流を頼むと話たら、受け入れてくれました。そしてその年の8月に、始めてモンゴルへ行きました。

モンゴルに入った時草原の魅力に感動し、また幼稚園に行ったら日本人と全く同じ顔なのに、驚かされました。その頃モンゴルはソ連一辺倒で、至るところソ連文字があり、工作物等も日本に較べ非常に遅れていました。また野菜・果物等殆どなかったけれど、子供の笑顔が素晴らしかったです。そしてモンゴル人は、自国に対しての誇りが非常につよいです。

次にモンゴルに行ったとき大学生と話したら、その学生は自分の国には夢がないと言うので理由をきくと、モンゴルには海がないし工業国でないから、と答えました。あとで考えてみて、その頃モンゴルはソ連についていたが、中国と接しており両方の国に挟まれ、その間にあって困っているのが、その背景にあるのではないかと思われました。

モンゴル人は常に移動するので、物が無いのが誇りだということです。着る物もビルという物で、夏はそれ一枚、冬はその下に厚い物を着て暖をとり、また水も極めて大事に使っております。日本に帰ってから、いかに自分が無駄をしていたか反省させられました。

平成2年、私の幼稚園の教諭が3カ月間モンゴルに行って、日本の伝統的な歌と踊りを教えてきました。その年の秋にモンゴルの文部省と、幼稚園の園長がきて、その2年後にモンゴルから、3名の園児がやって来ました。3カ月間私の家に泊めましたが、言葉に困りました。併し彼女等は日本の歌をしっかりと覚えていたのに驚きました。そのうちの一人は、その後小学生の時と中学生のときに私の家にきて、桔梗中学校にも留学しましたが、中学の校長はその子の礼儀正しさにびっくりしていました。実際に私の家においても挨拶、その他の礼儀の良いのには驚かされました。

また自分の国に対しての誇りが非常に強く、たとえば食物など自分の国では不足しているのを、絶対認めようとしません。

園児が3人来た翌年、モンゴルの幼稚園の先生が2人来ましたが、非常に熱心に、幼稚園のシステムを調べたり、夜の12時迄も家内と会話の練習をしたりしてました。またモンゴルでは教材が不足しているので、教材のカatalogを一杯持って行って手作りで使用してました。

かつてエルサルバドルのJ T R Oの職員だった方が南太平洋経済協力会にお